

飛んで行け!!

「やっと秋の訪れ」と言う気分です。今年の夏の暑さを特にしつこく感じたのは多分私だけではないと思います。野外での活動はとて大変だったので、秋の訪れは喜ばしいことです。私は涼しい気候や紅葉などの前に、夏鳥との別れで夏の終わりを感じます。森の中で一緒に過ごしたキビタキ、オオルリ、ヤブサメ、サンコウチョウなどの夏鳥の奇麗な鳴き声は、過酷な野外で活動する私の心を和ませてくれました。しかし、奇麗な声で鳴

く鳥たちよりも、私がつとも気に入っている夏鳥はハチクマと言う猛禽類です。初めて聞いた人も少なくないと思います。この猛禽類は珍しい習性をもっており、ハチの巣を狙うハンターです。ハチの幼虫以外にカエル、ヘビ、鳥なども捕食しますが、通常、餌にする物はほとんどがクロスズメバチ(地バチ)などハチの仲間です。ハチが飛んでいると巣まで追いかけて、地面から巣を掘り出します。日本には夏(正しくは、ハチの季節)にしか生息しないため、基本的には初夏にやって来て繁殖を行い、秋には東南アジアに渡ります。ハチクマのモニタリング調査を行った結果、市内で6個体確認されました。その中の2個体は市内唯一の営巣地とみられる場所で誕

生した幼鳥でした。低い山の豊かな森を好むハチクマは、都内で見られる場所がかなり限定されていて、個体数も少ないため、東京都のレッドリストで絶滅危惧種ⅠA類(ごく近い将来絶滅の危険性が高い種)になっています。

さあ、10月になりましたので、ハチクマは長い旅に出ました。しかし、同時に冬鳥が今年もやって来ます。今後の野外調査が楽しみです。

(パブロ)



スズメバチの巣らしき物を抱えて飛ぶハチクマ